

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
星が丘地区民生委員児童委員協議会	救急医療情報ノート作成事業	高齢者及び障害者並びにその世帯員を、救急時に適切な処置に結び付けるだけでなく、親族等の関係者にも連絡等が容易になる情報ノートを作成することにより、関係者相互の安心感の確保につながるるとともに、地区民生委員が対象者宅を訪問することにより、新規対象や既配布の世帯にも医療情報の見直しを指導する等、地域で支え合う身近な相談員としての民生委員活動にも結び付ける。	星が丘地区内の70歳以上の方を対象に自治会の加入・未加入を問わずに配布を行った。 ノートの配布は民生委員が個別に訪問し、配布をした。	本ノートを配布したことにより、高齢者が倒れたり、口が利けなくなったり、救急搬送された時に救急隊員から親族等への連絡する際の不安を解消して、安心・安全を確保することができるようになった。 自治会で把握困難な未加入者の高齢者宅へ配布し、対象者やその家族の不安解消の一助となった。	対象者及びその家族からは「万一の時、慌てずに済み安心である。」との好評を博している。 また高齢対象者宅を戸別訪問する機会が増え、民生委員の活動を理解してもらいきっかけにもなった。	H23.7.20	600,000
星が丘たのしい音楽祭実行委員会	星が丘たのしい音楽祭	健常者、要介護者と介護者及び関係団体等、多くの人との交流で歌や演奏をすることで、協働する喜びの共有や孤独感を軽減する等、個人の生活に活気をもたらすことにより、地域の活性化の一助とする。	131名の参加で音楽祭を実施した。 障害者や健常者問わず、みんなで歌い交流を深めることができた。	本会の開催により、引きこもりがちで外出の機会が少ない高齢者や障害者の外出の機会となり、音楽と交流の楽しさを味わってもらうことができた。 音楽を通じて、日ごろ接点のない人たちが交流することにより、地域の活性化が図られた。	参加者全員が和やかに楽しめる音楽会であった。 今後もこの事業を継続して実施し、地域の活性化をさせていきたい。	H23.7.20	165,000
星が丘地区ふれあいフェスティバル実行委員会	星が丘地区ふれあいフェスティバル	星が丘地区内の各種団体間で、いずれも課題となっている次世代の担い手育成という共通の目標に対し、世代間交流の図れる事業を展開して、関係団体がお互いに連携しながら、それぞれの活動に結び付ける。 まず、これまで地域内で活動を共にしたことがない者同士が、各団体の担い手を発掘する場として、地域住民が最も関心を示し、集客が見込める『フェスティバル』を開催し、関係者がお互いを補完しあいながら進めることにより、各種団体の相互理解と交流が生まれ、一層の地域連携、コミュニティの強化を図るとともに、各種団体活動の活性化につなげる。	星が丘小学校の校庭を会場に模擬店、展示、芸能・アトラクション、各種団体活動紹介・加入促進等を行い約5,300人の参加により盛大に行った。	星が丘地区全域を対象にしたことで、賑わいも増した。 また、趣旨である担い手の育成に関しては、来年度の事業の手伝いに参加しても良いという言葉を多くもらい、今後に希望の持てる成果があった。	星が丘地区内で、最も大きなイベントとなったこの事業を実施することにより、少ない人数ではあったが、仲間を増やすことができ、「絆」作りにもつながった。 今回で終わらせるのではなく、今後の他の事業においても、積極的に各団体への啓発を図っていきたい。	H23.9.13	1,500,000

